

令和元年度 第1回羽島市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

日 時	令和元年8月27日（火）午後1時30分～午後3時30分
場 所	羽島市役所 本庁舎4階 委員会室
出席者	<p>（委員） 服部律子会長、高砂房子副会長、浅野直美委員、櫛田昭裕委員、阿部達彦委員、馬場まさ子委員、齋藤優委員、浅野美保委員、服部慶子委員</p> <p>（事務局） 横山子育て・健幸担当部長、川田子育て・健幸課長、横山学校教育課長、熊崎子ども家庭センター所長、橋本健幸担当課長、國井子育て・健幸課長補佐、小森子育て・健幸課係長、堀主事</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会長・副会長の選出 会長は服部律子委員、副会長は高砂房子委員に決定</p> <p>4 議事</p> <p>（1）第1期羽島市子ども・子育て支援事業計画の評価 ・子育て支援に関するアンケート調査結果概要 —事務局より資料に基づき説明—</p> <p>（委員）コミュニティ・スクールはどういったものか。 （事務局）昨年度、今年度、タウンミーティングの中でコミュニティ・スクールの今後の展開について説明をしている。各学校のホームページにて周知し、コミュニティ・スクール便りを全戸配布している。</p> <p>（委員）放課後児童教室で指導員は、宿題の支援を行わないと聞いている。指導員はどこまで対応するのか。 （事務局）放課後児童教室は、生活の場の延長であり、学習の場ではない。教え方が違ってともということでの発言だったと考えられるが、臨機応変な対応をしていきたい。</p> <p>（委員）子育て支援拠点事業の利用者が減っている。利用日数を増やしたいと思わない人の割合が増えているが、0歳児の親子はどこに行っているのか。 （事務局）利用する人としらない人がある。周知に努め利用の機会を増やして行きたい。</p>

(委員) 児童センターの利用者が少ない。母親同士のLINEグループがあり、他市のよりよい企画の施設に出かけている傾向がある。

(委員) いろいろ情報を探してみると、どこに何があるか探せるが、閉じこもっていると、そうした情報にたどり着かない。幼稚園に子どもを入れて初めて、他のママから情報を知ることができた。メールや広報で情報を流して欲しい。アンケートに答えるのに時間がかかる。自分の声を拾ってもらいたいと思い書いた。「WANT」が重要視されていて「NEED」が拾われていない感じがする。

(委員) 保健センターの相談事業が減っているのはなぜか。

(事務局) 乳幼児相談を月2回実施しているが、民間企業も身体測定を実施しており、利用者が増えている。母親の選択の幅が広がって来たのは良いことである。

(事務局) 地方自治体が行う業務はキャパシティオーバーであり、全ての世代に全てのサービスを行うことは困難である。

総合計画アンケートでも多くの質問があり、今後、アプリを使う調査等を検討する必要がある。

簡易にできることを民間にやってもらい、専門的な保健師がチームとなったサービス体制を作っていくことを計画に盛り込んでいく。

・第1期羽島市子ども・子育て支援事業計画主要事業評価

(委員) 病児保育の利用者が減っている。母親の就労は増加しているため、ニーズはあるが利用しにくいのではないか。事前登録を要する現在の方法を見直して欲しい。

(事務局) 事前登録について、担当者が出張登録する方法等を検討したい。

(委員) 母親の就労が増えてきたが、岐阜県は3歳児までは親が見るという理想的な県。

しかし、幼児教育・保育の無償化に伴い、未満児も入園させた方が得ではないかという流れになると、保育園はパンクしてしまう。定員は確保しているが、保育士の確保が難しく、途中入所に対応できない。保育士のなり手が不足している。

地域的に人口が増えると待機児童の問題が発生する。また、働く

親が増え、学童保育のニーズも増えている。羽島市は福祉部が中心に動いているが岐阜市は教育委員会であり、先生によってきめ細かく対応してくれると聞いている。

(事務局) 無償化により、未満児の入園見込みをつかみにくいが、次期計画策定の際には見込みを立てたい。

放課後児童教室は、利用児童数は減っているが、希望者は増えている。学校も特別学級を持つこと等により使える教室が減っている。学校と調整し、確保をさせてもらっている。

(事務局) 全国市長会では国に対し、職員の待遇改善や施設整備を要望している。

施設整備に自己財源を自由に使える自治体はない。国に対して制度の見直しを要望していく。

人口集中地区では、入園希望が集中するが、市全体では待機は発生していない。

計画では、全体をならず部分と、深掘りをして地域によって問題がある部分には対症療法をしなければならぬと考えている。

放課後児童教室に対する学校側の温度差については、総合教育会議の場でも理解が得られるよう説明していく。

(2) 第2期羽島市子ども・子育て支援事業計画の策定について ・計画の概要と第2期事業計画の骨子(案)

(委員) 5歳児健診を実施してほしい。他市では実施しているところもある。小学校就学前に、指導ができる。教諭も気がつかないことがわかり、保護者や学校側が助かる。

健診結果を保護者ではなく園に送ってもらえるとよい。他県ではそうしているところもあると聞く。

(事務局) 5歳児健診は以前から指摘があった。3歳児健診で保護者に子どもの発達面等の話をしても繋がっていかないため、昨年からは保育園等を職員が巡回しており、今年度はより細かく実施していく。

健診結果を園に直接伝えることは、個人情報の問題で困難と考える。保護者を含め、どうやって情報共有していくのかを検討したい。

(委員) 保育園等への情報提供は、保護者の同意が必要。

(委員) 園児がB型肝炎等にかかっている子を預かっている。職員が安心して働くためにどうしたらよいか。

(委員) 保育士も予防接種してほしい。採用時にはチェックしてほしい。

(事務局) 今後も感染症予防をはじめとした国や県からの通知を園

長会等で情報提供していくが、保育士への予防接種の補助は難しい。
(委員) みずぼうそう、おたふくかぜ、B型肝炎の予防接種は自分、
子どもを守るために必要である。

(事務局) 子どもの予防接種率を上げる努力をしていく。

(3) 羽島市子育て支援企業認証・表彰制度について

意見なし

5 その他

—事務局より今後の会議日程、次期子ども・子育て支援事業計画策
定に向けたスケジュールを報告—

6 閉会

(事務局) 計画の中に意見を織り込んで行きたい。認証企業につい
て2回目の会議で審査をお願いします。